

校長室だより
NO. 52
令和2年2月25日

すべては光る

梅園小学校長
たか すりょうへい
高須 亮平

優しい心を誓い高学年を目指す4年生 ～ $\frac{1}{2}$ 成人式



堂々と決意を宣言する4年生

いよいよ2月最後の週です。三寒四温とでも言いましょうか、少しずつ春らしくもなってきました。

さて、先週の2月20日(木)に4年生127人による「 $\frac{1}{2}$ 成人式」が体育館で開催されました。程よい緊張感の中で、4年生一人一人がどのような高学年になるのかをよく考えた上での決意を述べることができました。子どもたちの現在の素直な姿を見ることができ、すばらしい式でした。多くの保護者の方々にもご出席いた

だき、成長した子どもの姿にふれることができましたと思います。

この $\frac{1}{2}$ 成人式というのは、成人の20歳の $\frac{1}{2}$ の10歳になった4年生が、これまでの自分自身を振り返り、できるようになったことを自覚し周りに感謝し、また、高学年への決意を新たにす式として位置づけました。本年度で5回目になります。

主なねらいは次の通りで、4年生のこの時期に行う価値を大いに感じるものです。

- 4年生は、小学校生活では来年度5年生となり、高学年の仲間入りをすることから、自分のこと、学校全体のこと、下級生の世話など、一層視野を広げた生活が求められます。そのため、その決意を新たにし、また、現時点でのこれからの夢や希望をもって生活していけることをねらいとしました。
- これまで10年生きてきた中で、体が大きくなったこと、自分でできるようになったことに加え、心の成長などに気づき、それには多くの方々の助けがあったことを自覚できることもねらいとしました。特に家族の力は大きく、感謝の気持ちを表すとともに、今後の生活に生かすことを期待しました。

式は、4年生がステージ上のひな壇に並び、その姿を保護者の方々にはきちんと見られる形で行われました。式の進行は4年生の実行委員が中心になって進められました。

まず、実行委員長の田口敦貴君の「代表あいさつ」、次には各学級の4人の代表が誓いの言葉として「作文発表」をしました。田口君とこの4人の話は、裏面をご覧ください。そして、式のメインである「 $\frac{1}{2}$ 成人宣言」が一人一人から発表されました。ここには、きちんとした4年生らしい姿が見られ、子どもたちの確かな成長を感じさせるものがありました。次にその宣言の一部を紹介します。

【1 組】

- ◇ 勘太郎君のように、自分で考えたことを行動に移すことができる高学年になりたいです。
- ◇ 苦手なことにも積極的に挑戦し、あきらめずに取り組むことができる高学年になりたいです。
- ◇ あこがれのお父さんのように、てきぱきと行動できる高学年になりたいです。
- ◇ 6年生の愛奈さんのように学校の授業も習い事も積極的に取り組める高学年になりたいです。
- ◇ お父さんやお母さんのように、目標をもって努力できる高学年になりたいです。
- ◇ 小さい子が好きなので、低学年の子に優しくできる高学年になりたいです。

【2 組】

- ◇ いろいろなことに進んでチャレンジできる高学年になりたいです。
- ◇ だれに対しても常に公平で優しく接することができる高学年になりたいです。
- ◇ たいへんなことがあっても逃げずに、一步を踏み出せる高学年になりたいです。
- ◇ 4の2のみんなのように自己中でなく他人のことを思いやる他己中な高学年になりたいです。
- ◇ いつも応援してくれる家族に感謝しながら高学年になっても何でもがんばれる人になりたいです。
- ◇ お父さんみたいに疲れていてもだれに対しても優しく接する高学年になりたいです。

【3 組】

- ◇ お母さんとお父さんにいつも笑顔で元気こいでほしいので、家族に優しさをもって接したいです。
- ◇ ふわふわ言葉が自然に出てくるような優しくどんな人にも同じようにできる高学年になりたいです。
- ◇ 高学年になったら弟に接しているように低学年の子にも思いやりをもって接していきたいです。
- ◇ 自分の意見をしっかり言って、みんなに頼られる高学年になりたいです。
- ◇ いつも笑顔で優しい高学年になるために人の気持ちを考えてから行動をしたいです。
- ◇ いつも元気にあいさつや返事をし、下級生に優しい言葉をかけられる高学年になりたいです。

【4 組】

- ◇ 友達をはげましたり、遊びにさそったりできる元気な高学年になりたいです。
- ◇ いつも笑顔でたくさんの友達と遊び合えるような高学年になりたいです。
- ◇ これからもお父さんのようにいつも食欲満点で、どんどん成長していきたいです。
- ◇ 年下の子を助けられるような高学年になりたいです。
- ◇ 自分の考えを人前でも堂々と言える高学年になりたいです。
- ◇ 音楽部のみんなのように、もっときれいな声で歌える高学年になりたいです。

今年度の4年生の言葉は、高学年を意識した言葉で、来年度へ大いに希望を持っているものでした。特に、「人に優しく」することが多く語られました。これは、人から優しくしてもらったことをまわりに広げていこうとする心の表れと感じました。また、「〇〇のように」という言葉からも、まわりのよさを認めて自分なりに表現しようとする気持ちが伝わってきました。その後、坂下莉歩さんの指揮、竹田爽花さんの伴奏で「どんなきも」の歌を心を込めて学年合唱しました。間奏のダンスも曲のイメージを表していました。そして、式は閉じられました。



家庭からの手紙を読む4年生

その後、教室では4年の先生からのサプライズとして、保護者の方に内緒で書いていただいた子どもへの思いが詰まった手紙が配られました。その手紙を一人一人の子どもが読むと、思わずうれし涙を流す姿も見られました。親の願いを伝える手紙を通した心のやり取りがなされた瞬間でした。子どもの返事の手紙には、「お父さん、お母さんの気持ちが分かったよ」「自分のことを心配してくれてありがとう」「これからは、ぼくが支えてがんばります」「期待にこたえられるように夢に向かってがんばります」など、自分自身の素直な思いが表されていました。その一部を裏面に紹介しました。これからの4年生の活躍が楽しみです。家庭、学校で支えていきたいと思います。

実行委員長のあいさつ

○ 4年2組

ついに、2分の1成人式をむかえました。ぼくはこの式を、今まで大切に育ててくれた人たちへの感しゃの気持ちがしっかりと伝わる式にしたいです。今日は、学年全員で、一人一人の思いを、心をこめて伝え、思い出に残るような式にしましょう。

学年発表（ちかいの言葉）

○ 4年1組

ぼくは、失敗をおそれず、何にでも挑戦できる高学年になりたいです。そう思えたのは、新しいことを始めるのが苦手だった自分を成長させてくれた家族がいてくれたからです。ぼくの兄は、好きなことに一生けん命です。でも、できないことが出てきて、失敗もたくさんします。それでも、かっこ悪くてもがんばり続けるのが兄です。そんな兄は、ぼくのお手本です。だから、ぼくができないことがある時、気持ちを分かかって応援してくれます。ぼくも兄のように、あきらめない心を持ち、失敗をおそれず、何にでも挑戦できる高学年になりたいです。

○ 4年2組

私は、笑顔いっぱいの高学年になりたいです。そう思えたのは、下向きな考えだった自分を成長させてくれた人が周りにいてくれたからです。4年2組の友達は、いつも困っている人を助けていて、すごいなあと思っていました。それに比べて私は助けてもらってばかりでした。そんな私を変えてくれたのは兄です。兄はだれに対しても優しくしていて、私に勉強も教えてくれます。ある日、兄が、「人に優しくすると心がポカポカするよ」と話してくれました。その話を聞いてから、人に優しくするようにしたら自然に笑顔になっている自分に気づきました。これからもわたしは、兄のように人に優しくして笑顔いっぱいの高学年になりたいです。

○ 4年3組

私は、どんなこともあきらめずに全力でがんばれる人になりたいです。そう思えたのは、マラソン大会で男女ともにおうえんしたり、長なわ練習ではげましあったりするいつも全力でがんばる4年3組のみんなと先生のおかげです。先生の優しい言葉といつも明るい4年3組のみんなの笑顔は、私にたくさんの力をくれます。そんなみんなの姿を見て、今度は私がみんなに力を与えられる人になりたいと思いました。これから先、苦手なこと、とまどうことがたくさんあるかもしれないけど、あきらめず努力できる高学年になりたいです。

○ 4年4組

私は、思ったことを発言できる高学年になりたいです。そう思えたのは、ネガティブだった自分を成長させてくれた4年4組のみんながいたからです。みんなは、いつも堂々と手を挙げていて、はずかしくてなかなか手が挙げられないわたしにとって、お手本のようです。いつも「合っていないかったらどうしよう」とか、はずかしいなどという理由で、手が挙げられなかったけれど、みんなが元気よく堂々と手を挙げているのを見て、今ではわたしも少しずつ手を挙げられるようになりました。4年4組のみんなに感謝しています。これからもわたしは、みんなのように自分の思ったことを堂々と発言できる高学年になりたいです。

お家の人へ返事の手紙

- お母さん、2分の1成人式に来てくれたり、お手紙をくれたり、大変なのにいつもやりたいことをやらせてくれて、本当にありがとう。甘えても笑顔でいてくれるお母さんが大好きだよ。あと10年で、ぼくも社会人になるんだね。これから、ぼくが何卒になっても元気でいっしょにしようね。
- 今日は、2分の1成人式に来てくれてありがとうございます。わたしが5年生になったら、困っている子や泣いている子がいたら、やさしく声をかけて、えがおにすることが、わたしの目標です。5年生になったら、ちかいの言葉みたいに、みんなをえがおにする高学年になります。これからもよろしくお願ひします。
- わたしを育てていただき10年がたちました。2人の手紙を読んだときに思わず学校で泣きそうになりました。いつもわたしのためにしてくれたことをとても感しやしています。わたしはこれから家族の思いを心に持ち、希望、挑戦、優しさ、思いなどと、いいことを進んでやっていけるような大人になるよ。今まで本当にありがとう。これからもよろしくね。大好きだよ。
- ママへ ぼくが小さいころに泣いて保育園行っていたけど、ぼくもがんばっていたよ。ママが帰るのがおそくてさみしくても、ばあばと待っていたよ。小学生になっても泣いていて、ママにめいわくをかけてごめんね。これからもがんばるね。ママ、10歳になるまで育ててくれてありがとう。次は、本当の成人式までがんばるね。お父さんへ お父さん、手紙が短くなってごめんね。ぼくが小さいときから見守ってくれたんだね。これからも仕事がいへんになると思うけど、ぼくもがんばるから、お父さんもがんばってね。